Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/07/12

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.11	-0.24
JPY/THB	0.2273	0.0025
USD/JPY	158.84	-2.85
EUR/THB	39.25	-0.11
EUR/USD	1.0868	0.0038
USD/CNH	7.268	-0.025
SGD/THB	26.88	-0.06
AUD/THB	24.41	-0.11
USD/INR	83.57	0.04
USD Index	104.44	-0.61

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,421.9	42.2
WTI (Oil)	82.62	0.52
Copper	9,786.5	-118.5

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,329.37	6.09
NIKKEI (JP)	42,224.02	392.03
DOW (US)	39,753.75	32.39
S&P500 (US)	5,584.54	-49.37
SHCOMP (CN	2,970.39	31.02
DAX(GER)	18,534.56	127.34

Bond

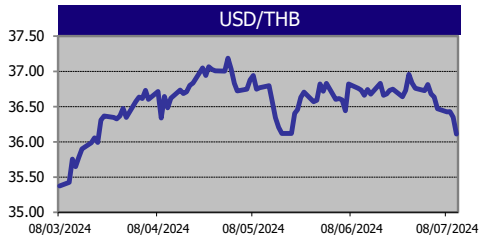
	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.385	-0.006
10Y (THB)	2.622	-0.012
5Y (USD)	4.143	-0.095
10Y (USD)	4.210	-0.074

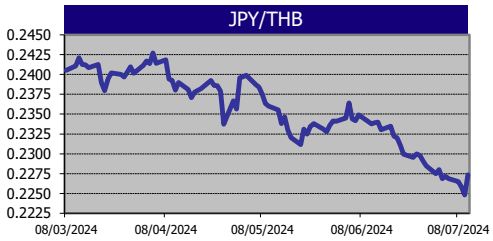
Fund Flow (Overseas Investors)

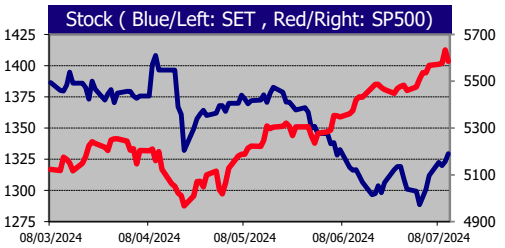
	Close	CHANGE
Stock net flow	(584)	1463.7
Bond net flow	1,536	-1600.0

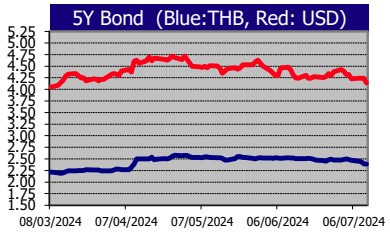
*compared with previous day

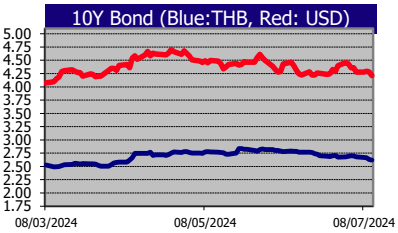
(Source: Bloomberg)

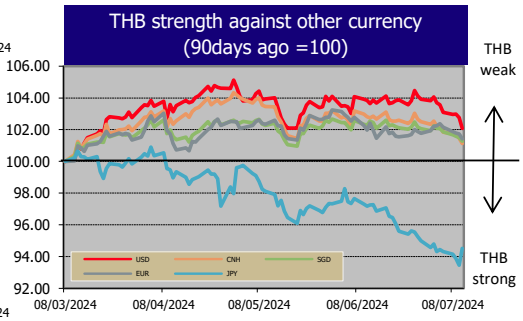


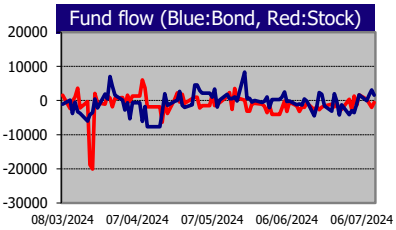


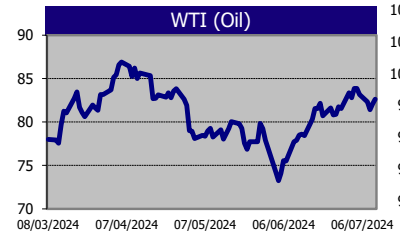












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

・昨日のドルバーツは下落。36バーツ台前半で取引を開始したドルバーツは、バンコク時間朝方に下押しされる場面が見られるも、海外時間に米6月CPIの発表を控える中、水準を変えるほどの動きとはならず、次第に下落幅を縮小させる動きを見せながら海外時間に入った。注目の米6月CPIは、ヘッドライン・コアともに市場予想を下回る結果となり、市場はドル売りで反応。ドルバーツも急落し、およそ2カ月ぶりの安値を付けると、同水準を維持しながら36.11レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。151円台半ばの水準で取引を開始すると、日経平均株価の堅調な動きにドル円も底堅く推移。ただ、海外時間に米6月CPIの発表を控え、値幅は限られたものとなった。海外時間、米6月CPIは軟調な結果となり、米9月利下げ観測の高まる中でドル売り優勢の展開に。その後、本邦当局の介入と思しき動きも相俟って一時157円台半ば付近まで急落。158円台後半まで反発するも、終盤にかけては介入警戒感が残る中、158円台半ば付近での推移が続き、158.84レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

注目された米6月CPIは、コアCPI前月比+0.1%（市場予想+0.2%）と2021年8月以来の小幅な伸びを示し、米国のインフレは広範囲で鈍化した。前年同月比+3.3%（市場予想+3.4%）は、約3年で最も低い伸びとなり、ディスインフレが軌道に戻りつつあることを確認したい米金融当局にとって9月利下げの追い風となる結果だったと言えよう。また、スワップ市場による9月利下げ確率は、CPI発表前の約73%から約90%まで急上昇した。市場予想を下回った米CPIを受けて、9月利下げ観測が強まる中、本邦当局による為替介入らしき動きも相まって、ドル円は161円台半ばから一時157円半ばまで急落した。神田財務官は、介入の有無についてコメントを控えたが、「足元の為替の動きは、ファンダメンタルに沿った合理的な動きとは言えない」「円安の国民に対する悪影響は決して無視できない」と述べた。アジア時間朝方、ドル円は159円前半まで戻しているように根強い円売り需要が見られ、当面値動きの荒い展開となろう。（前川）

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.